

環境会計 (2012年度)

2012年度の投資額については、Hfインバータ蛍光灯への更新や建屋内内壁の断熱シート設置工事などを実施しましたが、対前年度比19.6%の減少となりました。費用額についても、公害防止コストとして土壌汚染対策費用が増加したものの、資源循環コストや環境負荷の監視測定コスト等の減少から、8.2%の減少となりました。なお、経済効果については、これまで計画的に実施してきた省エネ型の空調機への入れ替えや毎年継続して行っている省エネ活動（クールビズ、ウォームビズ活動など）による効果もあり15.1%増加しました。

- 集計範囲：国内アンリツグループ
- 集計期間：2012年4月1日から2013年3月31日

[]内の数値は、2011年度実績

環境保全コスト				効果		
大分類	中分類		投資額(百万円)	費用額(百万円)	経済効果(百万円)	物量削減効果
事業エリア内コスト	公害防止コスト(リスク対策含む)		0.0 [1.8]	41.0 [23.2]	146.1 [146.1]	
	地球環境保全コスト	温暖化防止	17.0 [19.4]	12.3 [7.6]	135.7 [98.0]	3,346 (トン-CO ₂) [1,891 (トン-CO ₂)]
		資源循環コスト	資源循環/活用活動		62.4 [95.4]	0
			廃棄物処理費用		31.5 [29.5]	12.2 [9.1]
上下流コスト	グリーン購入/調達コスト			23.2 [23.0]	38.4 [31.2]*	1,076 (トン-CO ₂) [643 (トン-CO ₂)]*
	環境配慮型製品設計			22.3 [32.0]		
	製品・容器包装などリサイクル、回収、処理			0.0 [0.5]		
管理活動コスト	環境教育/人材育成			26.6 [19.5]	0	
	EMS運用・維持、内部監査			46.4 [45.8]	0	
	環境負荷の監視測定コスト			18.2 [32.8]	0	
	環境保全対策組織の人件費			4.9 [5.2]	0	
	緑化整備・維持			9.8 [10.5]	0	
社会活動コスト	地域・環境保全団体などへの支援			1.2 [1.3]	0	
	情報公開			8.1 [7.9]	0.0 [2.4]	
研究開発コスト	環境負荷低減のための研究開発			0.4 [2.0]	0	
環境損傷対応コスト	環境損傷対応のためのコスト			0.0 [0.0]	0	
合計			17.0 [21.2]	308.4 [336.0]	332.4 [286.7]	
上下流コストを除いた合計					294.0 [255.5]	
前年度比			-19.6%	-8.2%	15.1%	

*製品使用時における環境負荷抑制効果(みなし効果)削減電力：2,261 MWh [1,837 MWh]

アンリツグループでは、温室効果ガス削減の取り組みの一環として、省エネタイプの設備への更新を順次実施しています。

2012年度は、厚木地区を中心に、一部の蛍光灯を効率の良いインバータ方式のものに更新(798台)しました。また、紐スイッチを取り付け、個別に消灯できるようにしたこともあり、これらの個別消灯効果も含めて変更前と比較して15%程度の省エネ効果が得られました。

今後も、省エネ施策を拡大し、さらに温室効果ガス削減に努めていきます。

- インバータ蛍光灯更新費用：1,330 (万円)
- CO₂削減効果：9.0 (t/年)



インバータ蛍光灯